

コーティング上からのタンク板厚の測定に使用する
デジタル表示超音波厚さ計の型式試験確認申請書

危険物保安技術協会 殿		平成 年 月 日				
申請者 住所 氏名		印				
コーティング上からのタンク板厚の測定に使用するデジタル表示超音波厚さ計の 型式試験確認を受けたいので、次のとおり申請します。						
申請内容	型 式					
	装 置 区 分	腐食部検出器	腐食部厚さ測定器			
	コーティングを施した 鋼材の測定可能範囲	mm ~ mm				
	種 類	銘柄名及び製造者名	最大厚mm	種 類	銘柄名及び製造者名	最大厚mm
	測定可能な コーティング					
試験確認希望年月日		平成 年 月 日				
試験確認実施場所						
担当者		氏名	電話			
備考 (探触子、ケーブル等 の附件)						
受付		手数料	その他の費用			

- 備考 1 . この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。
 2 . 申請書は、正副 2 通提出する。提出するものは、別紙 1 に示す標準試験片の検査記録書に必要事項を記入して、
 3 . 申請書は、正副 2 通提出する。提出するものは、別紙 1 に示す標準試験片の検査記録書に必要事項を記入して、
 4 . 申請書は、正副 2 通提出する。提出するものは、別紙 1 に示す標準試験片の検査記録書に必要事項を記入して、
 5 . 申請書は、正副 2 通提出する。提出するものは、別紙 1 に示す標準試験片の検査記録書に必要事項を記入して、

コーティング上からのタンク板厚の測定に使用するデジタル表示超音波厚さ計の型式試験確認に係る標準試験片

検査記録書

コーティング厚さ確認試験片 CT - 1

コーティングの種類	塗料銘柄名 及び製造者区名	試験申請	A グループ		B グループ	
			試験片記号	実塗膜厚 (mm)	試験片記号	実塗膜厚 (mm)
エポキシ			E -1.0 -4.5		E -1.0 -32	
			E -0.7 -4.5		E -0.7 -32	
			E -0.5 -4.5		E -0.5 -32	
			E -0.3 -4.5		E -0.3 -32	
			E -0.2 -4.5		E -0.2 -32	
			E -0.1 -4.5		E -0.1 -32	
タール エポキシ			TE -1.0 -4.5		TE -1.0 -32	
			TE -0.7 -4.5		TE -0.7 -32	
			TE -0.5 -4.5		TE -0.5 -32	
			TE -0.3 -4.5		TE -0.3 -32	
			TE -0.2 -4.5		TE -0.2 -32	
			TE -0.1 -4.5		TE -0.1 -32	
ガラス フレーク			GF -1.0 -4.5		GF -1.0 -32	
			GF -0.7 -4.5		GF -0.7 -32	
			GF -0.5 -4.5		GF -0.5 -32	
			GF -0.3 -4.5		GF -0.3 -32	
			GF -0.15 -4.5		GF -0.15 -32	
FRP			FR -4.0 -4.5		FR -4.0 -32	
			FR -3.0 -4.5		FR -3.0 -32	
			FR -2.0 -4.5		FR -2.0 -32	
			FR -0.6 -4.5		FR -0.6 -32	
亜鉛塗料			Z -0.3 -4.5		Z -0.3 -32	
			Z -0.1 -4.5		Z -0.1 -32	
			Z -0.05 -4.5		Z -0.05 -32	
アルミ 溶射			AL -0.3 -4.5		AL -0.3 -32	
			AL -0.2 -4.5		AL -0.2 -32	
			AL -0.1 -4.5		AL -0.1 -32	

試験片の材質；

Aグループ	S S 400	S M 400	S B 410
Bグループ	S S 400	S M 400	S B 410

- 備考
- 試験確認に使用するために申請者が準備する試験片について「試験申請」の欄に印を付すこと。
 - 実塗膜厚さは、小数点以下2桁で表示のこと。
 - 試験片の材質について、該当を で囲むこと。
 - 塗膜厚さ及び試験片母材厚さの許容公差は±0.05mmとする。
ただし、Z -0.05 - の塗膜厚さの許容公差は±0.02mmとする。
 - この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

コーティング上からのタンク板厚の測定に使用するデジタル
表示超音波厚さ計の型式試験確認に係る標準試験片
検 査 記 録 書

異常表示確認試験片 CT - 2

コーティングの種類	塗料銘柄名 及び製造者区名	試験申請	試験片記号	C 実塗膜厚 (mm)	T 試験片厚 (mm)	H 溝 深 (dB)
エポキシ			E -1.0 -RC			
			E -0.7 -RC			
			E -0.5 -RC			
			E -0.3 -RC			
			E -0.2 -RC			
			E -0.1 -RC			
タール エポキシ			TE -1.0 -RC			
			TE -0.7 -RC			
			TE -0.5 -RC			
			TE -0.3 -RC			
			TE -0.2 -RC			
			TE -0.1 -RC			
ガラス フレーク			GF -1.0 -RC			
			GF -0.7 -RC			
			GF -0.5 -RC			
			GF -0.3 -RC			
			GF -0.15 -RC			
FRP			FR -4.0 -RC			
			FR -3.0 -RC			
			FR -2.0 -RC			
			FR -0.6 -RC			
亜鉛塗料			Z -0.3 -RC			
			Z -0.1 -RC			
			Z -0.05 -RC			
アルミ 溶 射			AL -0.3 -RC			
			AL -0.2 -RC			
			AL -0.1 -RC			

- 備考 1. 各部寸法は下図による。
 2. 試験確認に使用するために申請者が準備する試験片について「試験申請」の欄に 印を付すこと。
 3. 各記録値の表示は下記による。
 C : 小数点以下 2 桁で記入
 T : " 2 "
 4. C、T寸法の許容公差は $\pm 0.05\text{mm}$ とする。ただしZ -0.05 -RCについては、Cの許容公差は $\pm 0.02\text{mm}$ とする。
 5. Hは、コーティングなしの状態基準片（協会保管）に対し、 B_1 / B_2 が $\pm 1\text{dB}$ 以内とする。
 6. この用紙の大きさは日本工業規格 A 4 とする。

コーティング上からのタンク板厚の測定に使用するデジタル
表示超音波厚さ計の型式試験確認に係る標準試験片
検 査 記 録 書

異常表示確認試験片 CT - 3

コーティングの種類	塗料銘柄名及び製造者区名	試験申請	試験片記号	C 実塗膜厚 (mm)	T 試験片厚 (mm)	H 穴 深 (dB)	D 穴 径 (mm)
エポキシ			E 1.0 2.0				
			E 0.7 2.0				
			E 0.5 2.0				
			E 0.3 2.0				
			E 0.2 2.0				
			E 0.1 2.0				
タール エポキシ			TE 1.0 2.0				
			TE 0.7 2.0				
			TE 0.5 2.0				
			TE 0.3 2.0				
			TE 0.2 2.0				
			TE 0.1 2.0				
ガラス フレーク			GF 1.0 2.0				
			GF 0.7 2.0				
			GF 0.5 2.0				
			GF 0.3 2.0				
			GF 0.15 2.0				
FRP			FR 4.0 2.0				
			FR 3.0 2.0				
			FR 2.0 2.0				
			FR 0.6 2.0				
亜鉛塗料			Z 0.3 2.0				
			Z 0.1 2.0				
			Z 0.05 2.0				
アルミ 溶 射			AL 0.3 2.0				
			AL 0.2 2.0				
			AL 0.1 2.0				

備考 1 . 各部寸法下図による。

2 . 試験確認使用するために申請者が準備

する試験片について「試験申請」の欄に 印を付すこと。

3 . 各記録値の表示は下記による。

C : 小数点以下 2 桁で記入

T : " 2 "

H : " 2 "

D : " 1 "

4 . C、T、H、Dの許容公差は±0.05mmとする。ただし、Z 0.05 - 2.0 については、Cの許容公差は±0.02mmとする。

5 . この用紙の大きさは日本工業規格 A 4 とする。

コーティング上からのタンク板厚の測定に使用するデジタル表示
超音波厚さ計の性能範囲の追加に係る試験確認申請書

危険物保安技術協会 殿		平成 年 月 日						
		申請者 住 所 氏 名				印		
コーティング上からのタンク板厚の測定に使用するデジタル表示超音波厚さ計に係る型式試験確認の証明を受けた型式の厚さ計について、性能範囲の追加に係る試験確認を受けたいので、次のとおり申請します。								
型 式								
確 認 番 号								
装 置 区 分		腐食部検出器			腐食部厚さ測定器			
性能範囲の変更申請内容	性能範囲に追加するコーティング	種 類	銘柄名及び製造者名	最大厚mm	種 類	銘柄名及び製造者名	最大厚mm	
試験確認希望年月日		平成 年 月 日						
試験確認実施場所								
担 当 者		氏 名				電 話		
備 考								
受 付		手 数 料			その他の費用			

- 備考
1. この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。
 2. 申請書は、正副 2 通提出するものとする。
 3. 申請にあたっては、別紙 1 に示す標準試験片の検査記録書に必要事項を記入して、正副 2 通添付すること。
 4. 装置区分の欄は、いずれかを 消去のこと。
 5. 印欄は記入しないこと。

コーティング上からのタンク板厚の測定に使用するデジタル表示
超音波厚さ計型式試験確認済証申請書

平成 年 月 日

危険物保安技術協会 殿

申請者

住 所

氏 名

印

貴協会の、コーティング上からのタンク板厚の測定に使用するデジタル表示超音波厚さ計に係る型式試験確認を受けた型式の[腐食部検出器、腐食部厚さ測定器]について、型式試験確認済証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

申 請	型 式			
内 容	交付希望枚数	枚		
確 認 番 号	第 号			
担 当 者	氏 名		電 話	
そ の 他				
受 付		手 数 料		その他の費用

- 備考 1 . この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。
 2 . 申請書は、正副 2 通提出するものとする。
 3 . 印欄は記入しないこと。
 4 . 申請文中の[]内については、いずれかを —— で消すこと。